

TSUNAGU

～中学校区の特色を生かした小中一貫教育～

小中一貫教育推進室だより「TSUNAGU」では、子どもたちの様子や学校園の取組みなど、市内における小中一貫教育をはじめとした連続・一貫した教育活動の状況を発信していきます。

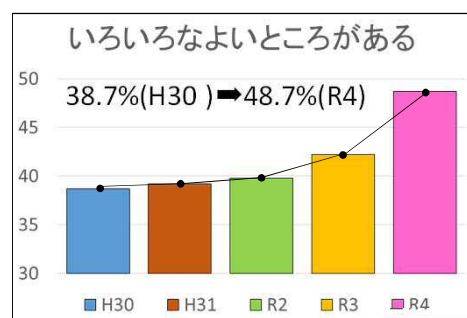
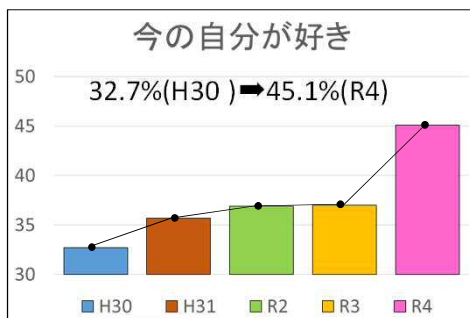
楠根中学校区

楠根中学校区では、児童生徒の自己肯定感を高めることを目標に、児童生徒同士で評価する環境づくりを実施しています。

三校一体ですすめる子ども同士で評価する環境づくり

H30の社会性測定用尺度のアンケートにおいて自己肯定感に関わる以下の2項目の数値が低いことが分かりました。そこで『自己肯定感の向上』を目標に「子どもたち同士で互いを評価する環境づくり」を三校一体となって進めることにしました。

下記に示した学年に応じた取組みを継続してきた結果、2項目の数値は年々上昇傾向にあり、R4の結果では、10pt以上の上昇がみられました。取組みについて紹介します。



低学年「日直・当番・係会議の充実」

めざす子どもの姿
【クラスの誰かのためにがんばる姿】



1学期の係会議の様子

日直や当番など、クラスのために役割を意識して取り組んできたことを、**学期末の係会議でふり返る**。そうすることで、クラスみんなの役に立っていたことを一人ひとりが実感できるようになる。

黒板消しの係活動、いつもありがとう♪

中学年「教え合い・認め合い」

めざす子どもの姿
【得意なことを活かして友だちに教える姿】



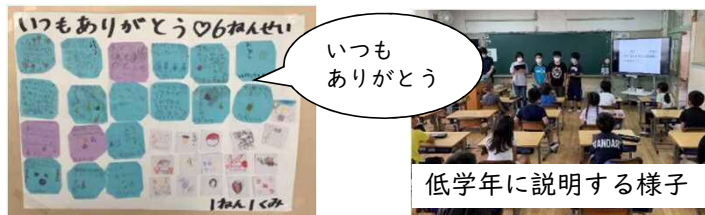
自分たちで教え合いをする様子

様々な場面で積極的にグループ学習を行い、教え合いをしている。ふり返りの中で「〇〇さんの教え方が上手だった」「〇〇さんの説明が分かりやすかった」など**評価し合える取組み**を進めている。

教え方が上手!!

高学年「委員会活動の発信」

めざす子どもの姿
【学校全体のために自分の役割を果たす姿】



低学年に説明する様子

他学年から委員会活動への**感謝の手紙や言葉を伝える時間を設定し**、達成感の充実につなげている。そのために、委員会活動の内容や成果を校内ポスターで掲示したり、集会で伝えたりしている。

いつもありがとう

中学生「主体性を重視した行事検討」

めざす子どもの姿
【自分たちの力で行事をつくりあげ、達成する姿】



学年に説明をする様子

校外学習など行事が行われるときに学級委員が中心となり、企画を考え、実行する。**行事終了後にふり返りをする**ことで、生徒は一つ一つの行事に責任感をもってやり抜くことの大切さや達成感をもてるようになる。

今から校外学習の行程について説明します。

高井田中学校区は、森河内小学校、高井田西小学校、高井田中学校の3校で体操服の統一、小6と中3で合同講演会「いのちの授業」を行うなどの取組みを行ってきました。



ひとりも取り残さない授業づくりに向けた実践

高井田中学校区では、子ども一人ひとりの学力向上をめざす中で、『ひとりも取り残さない授業づくり』に向けた実践を行ってきました。

STEP1 小中の先生同士が互いの授業を見学し合い『授業づくり』について協議

➡授業の中で**子ども同士で対話する時間**を設定。分からないところを自然に友だちに聞く姿や、友だちから新しい考え方を受け、さらに深く考える姿が見られました。



STEP2 学力向上部を中心に中学校区全体で一貫した学習活動目標を作成

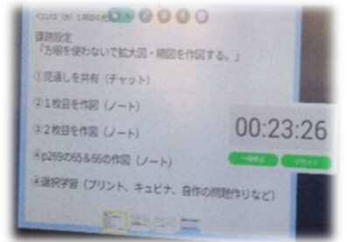
子どもたちが自ら学び方を考える活動を9年間につなげていく。

➡自分たちで**学び方を設定**し、なぜこうなるのか？どうしたらこの答えに結びつくのかを一人ひとりが考え、友だちと学び合いを進める姿が見られました。ふり返りの時間では、自分たちでできた達成感や分かる喜びを伝える姿が見られました。



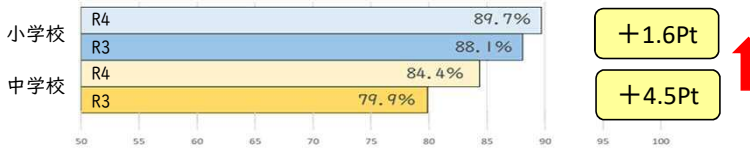
現在、ICT機器を活用した授業づくりを研究テーマに森河内小学校で実践を進めています。

Teamsのチャット機能を使い、授業中の気になった疑問や大事なキーワードをその場で打ち込み、タブレットに残していきます。個人の気づきや疑問をクラス全体で共有することで、一人ひとりの考えをより深めていくことをねらいとしています。今後はこれらの実践を高井田中学校区全体に広げていく予定です。

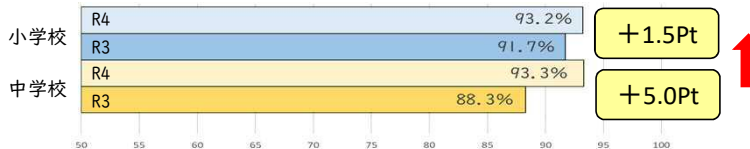


学びのトライアル事業に係る学習状況等調査における児童生徒の肯定的回答の推移【R3-R4】

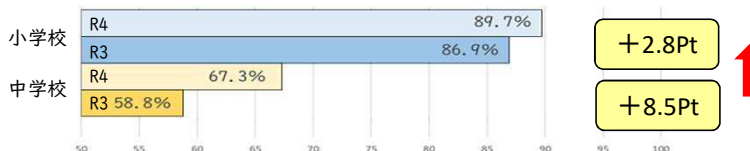
① 自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか



② 学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか



③ 最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか



中学校区全体で『ひとりも取り残さない授業づくり』をめざし実践を積み重ねています。

その中で、授業において「自分の考えを発表する活動」、「友だちと話し合う活動」「学習内容をふり返る活動」が子どもたちの中で定着してきました。